

## アクティブ・レンジャー試行の概要（参考）

### 1. 応募状況

- ・ 応募期間 平成17年1月5日から18日まで
- ・ 応募者数 知床地区51名、奄美地区67名、計118名。
- ・ 年齢は20歳代を中心に幅広い年齢層にわたり、対象地域だけでなく全国各地から、様々な経歴を持った多数の方が応募。
- ・ 応募者は大学で生物や生態系について学んだ者が多かった。

〔 応募者の平均年齢は約30歳  
 応募者の男女比はおおよそ3対1 〕

### 2. 選考

- ・ 書類審査及び面接試験により選考。
- ・ 自然環境に関する知見、野外での活動経験、地域の自然環境に対する理解などの観点から、活躍が期待できる次の2名の採用を決定。

#### 【知床地区】 千葉 利郎

- ・ 1978年生まれ。札幌市在住。男性。
- ・ 大学、大学院を通じて環境化学物質の生物影響について研究。
- ・ ヒグマ研究グループにも所属し、ヒグマやエゾシカの生態・行動調査など、道内各地で野生動物のフィールド調査を数多く行っている。
- ・ 自然を相手としたフィールドワーカーを目指している。

#### 【奄美地区】 前園 美樹

- ・ 1977年生まれ。名瀬市在住。女性。
- ・ 大学、大学院を通じ、動物生態学や生物多様性の維持機構について研究。
- ・ 2年ほど前から奄美大島に住み、外来種の影響に関する研究に参加するなど、奄美全島の山野を対象に生物調査を行っている。
- ・ 地元の学校でボランティアとして奄美の自然をわかりやすく解説するなど、地域における普及啓発活動にも精力的に取り組んでいる。

### 3. 雇用期間： 平成17年2月1日から3月30日まで

### 4. 活動状況

【知床地区】冬期の公園利用状況、鳥獣保護区への入り込み状況の把握、スノービル乗入れの監視、希少植物のデータ整理などを実施。従来不足していた冬期の利用データを集積。

【奄美地区】センサーカメラを用いた希少生物生息調査、マングース生息確認のための巡視、地域への普及啓発などを実施。地域の子ども向けの教材づくりにも貢献。